

平成28年度 第6回県政参画電子アンケート
「地域医療構想」に関するアンケート

1 調査概要

- テーマ 「鳥取県地域医療構想」に関するアンケート
- 実施期間 平成28年8月9日(火) から 8月23日(火) 9:00
- 対象 県政参画電子アンケート会員(929名)
- 回答数 748名(回答率 80.5%)

2 調査目的

我が国では、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上の者)となる平成37年(2025年)には、複数の疾患を抱えて慢性疾患の有病率が高い後期高齢者が大きく増加することから、医療や介護が必要になる場合が多くなり、「医療・介護サービスの提供体制の改革」が求められています。その対応として、平成26年6月に制定された「医療介護総合確保推進法」等により、各都道府県に、地域における将来の医療提供体制に関する構想を策定することが義務付けられ、本県では平成28年度半ばを目処に「鳥取県地域医療構想」を策定する予定です。

今後、鳥取県では平成37年(2025年)に向けて、鳥取県地域医療構想の目的である「**必要な医療を適切な場所で提供できる体制の整備**」「**希望すれば在宅で療養できる地域づくり**」を目指した本県にふさわしい医療提供体制を実現するための取組を進めていくこととしており、その参考とさせていただくため、今回アンケートを実施するものです。

[＜地域医療構想の概要版へのリンク＞](#)

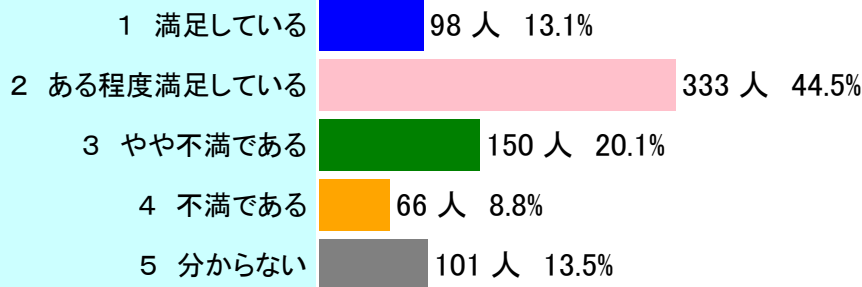
【問1】あなたは、鳥取県が策定を進めている「地域医療構想」を知っていますか。(回答必須)

1 聞いたこともあり、
内容も知っている 34人 4.5%

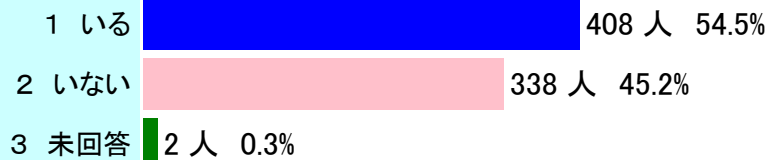
2 聞いたことはあるが、
内容は知らない 170人 22.7%

3 知らない
(初めて聞いた) 544人 72.7%

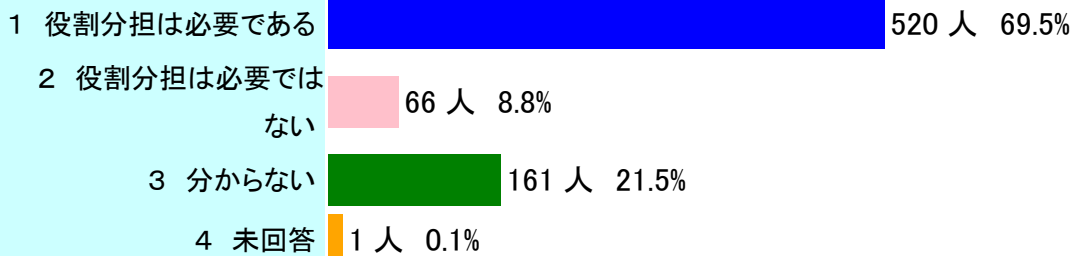
【問2】あなたは、自分が住んでいる地域の医療機関(病院・診療所)の整備状況についてどうお思いですか。(回答必須)



【問3】あなたには、「かかりつけ医」(日常的な診療や健康管理をしてくれる身近な医師)がいますか。

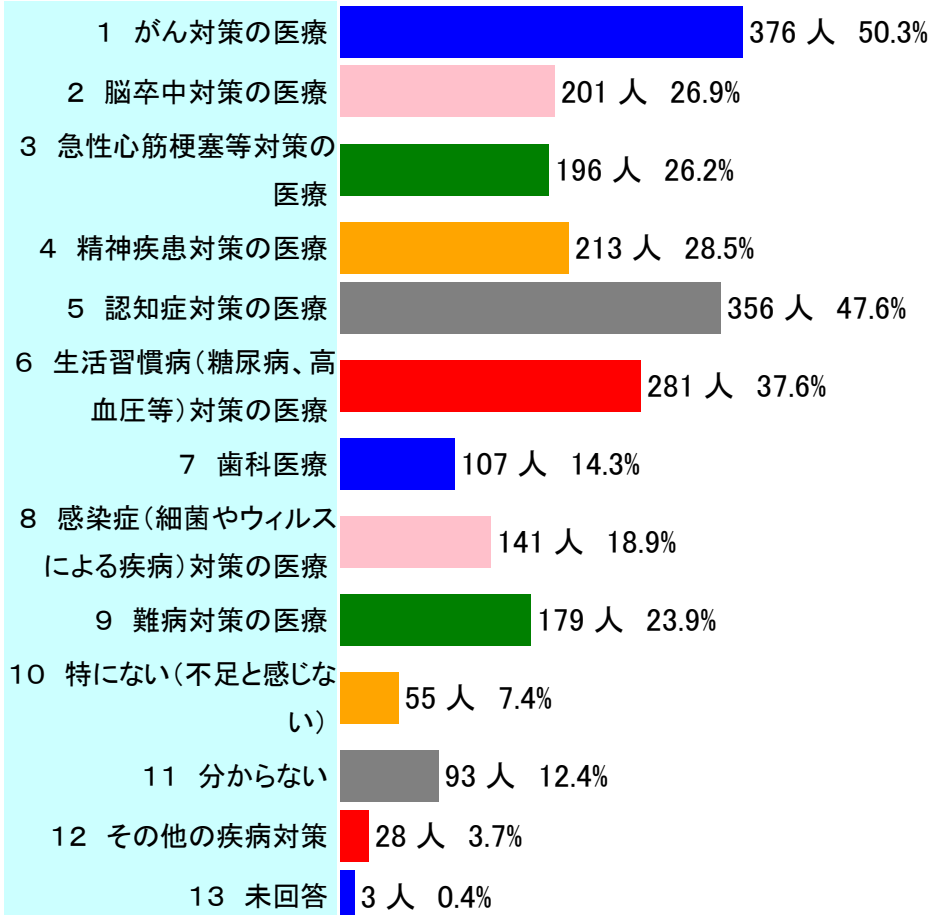


【問4】あなたは、自分が住んでいる地域において一つの医療機関であらゆる治療が受けられるのではなく、医療機関ごとの役割分担が進められることについてどうお思いますか。

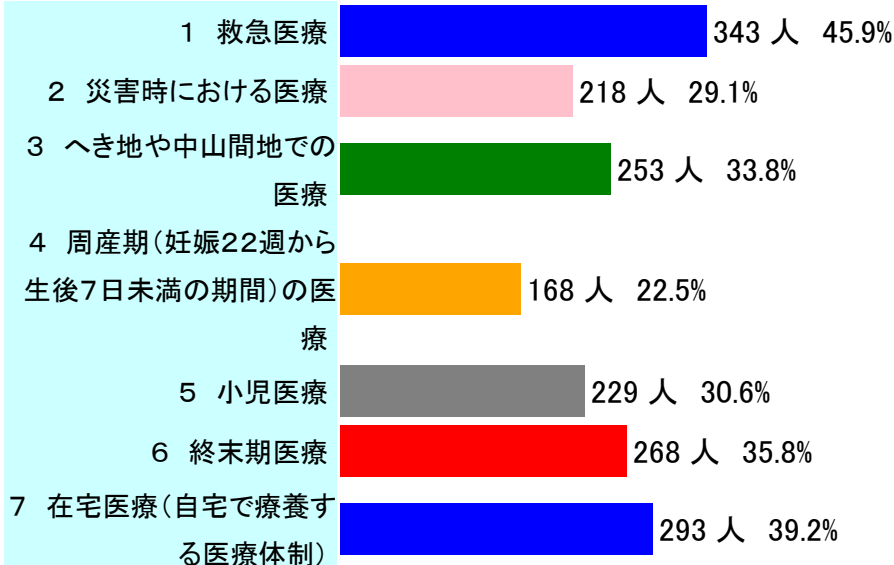


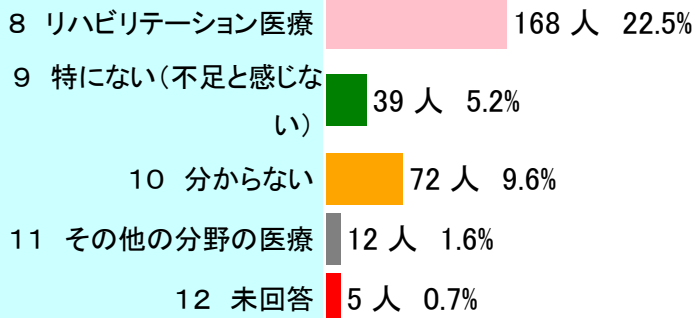
【問5】あなたは、本県で今後どのような医療を充実すべきだと思いますか。
または、本県でどんな医療が不足していると思いますか。

(1) 具体的な疾病についてお聞きします。(複数選択可)

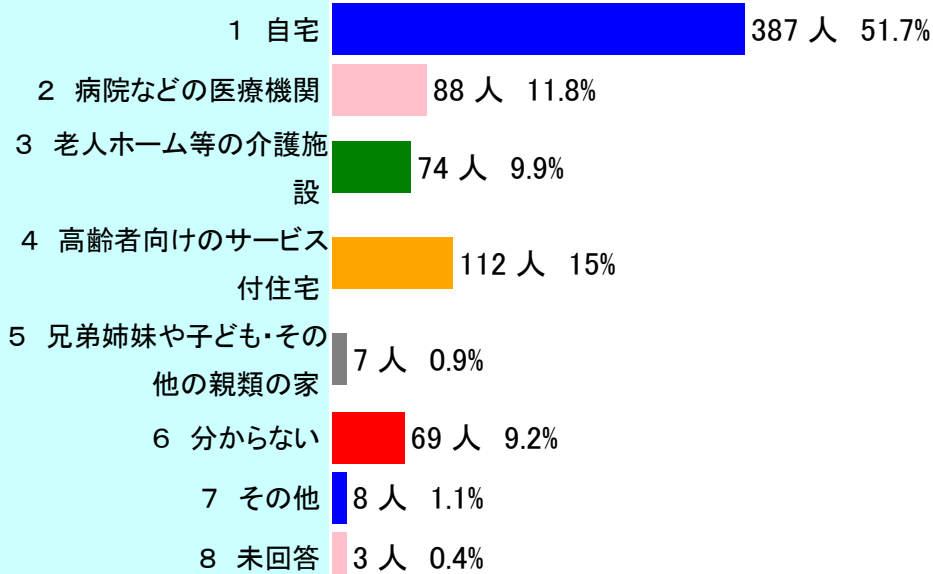


(2) 疾病以外についてお聞きします(複数選択可)

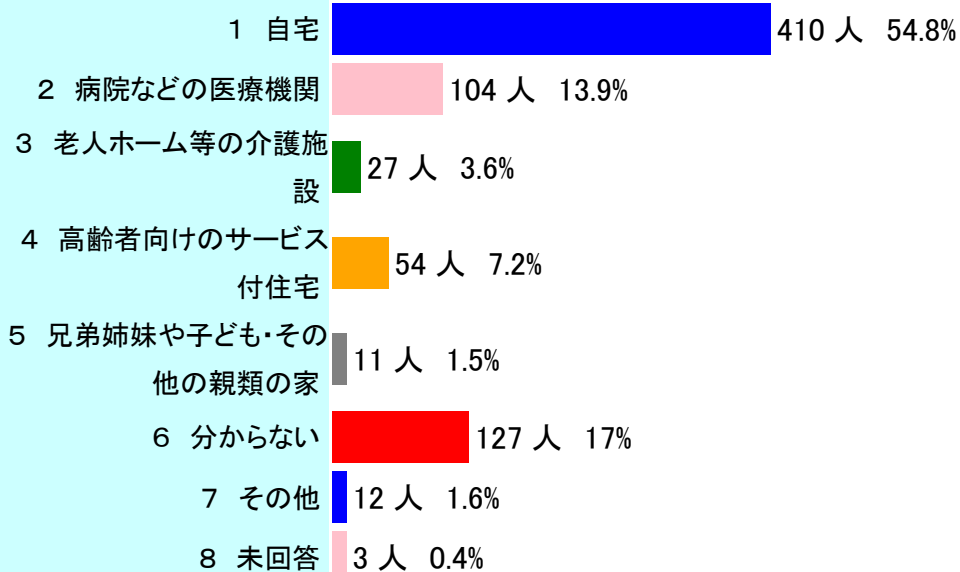




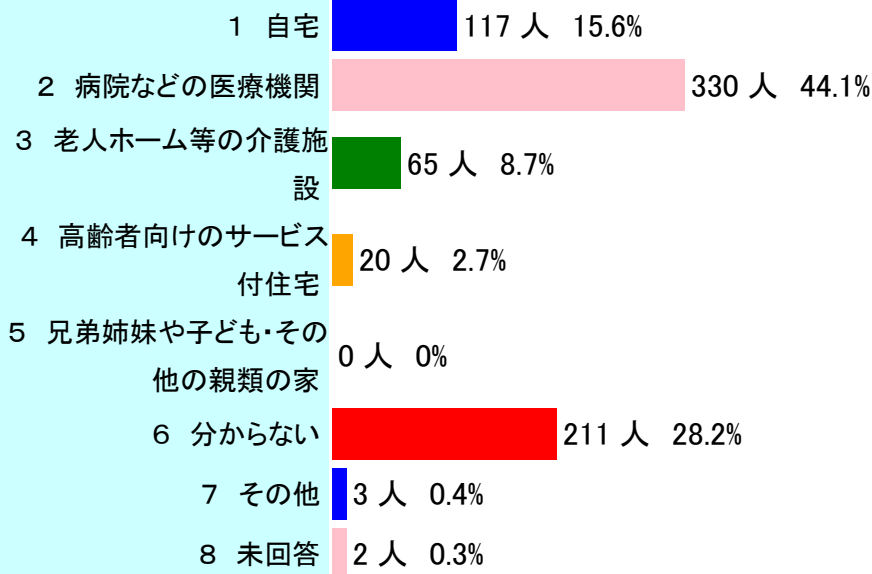
【問6】あなたが高齢者(概ね65歳程度以上)となって、ご自身が医療や介護が必要となった時に、最も過ごしたいところはどこですか。



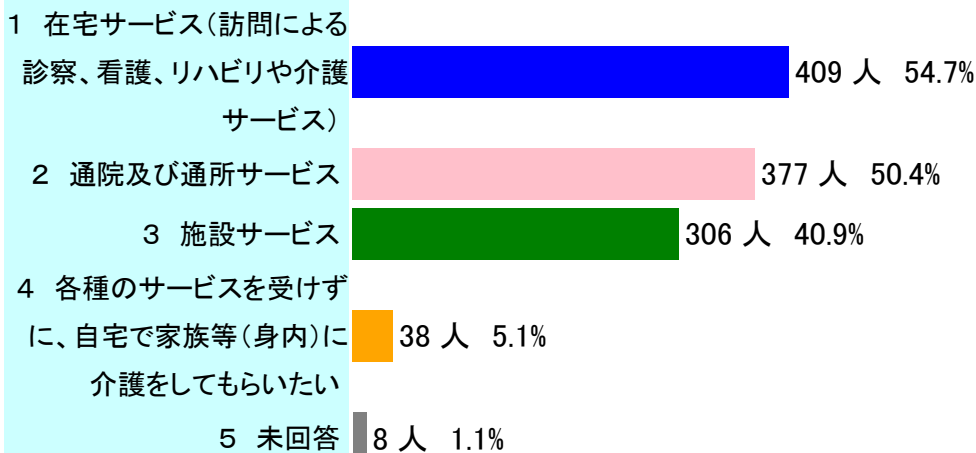
【問7】あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。



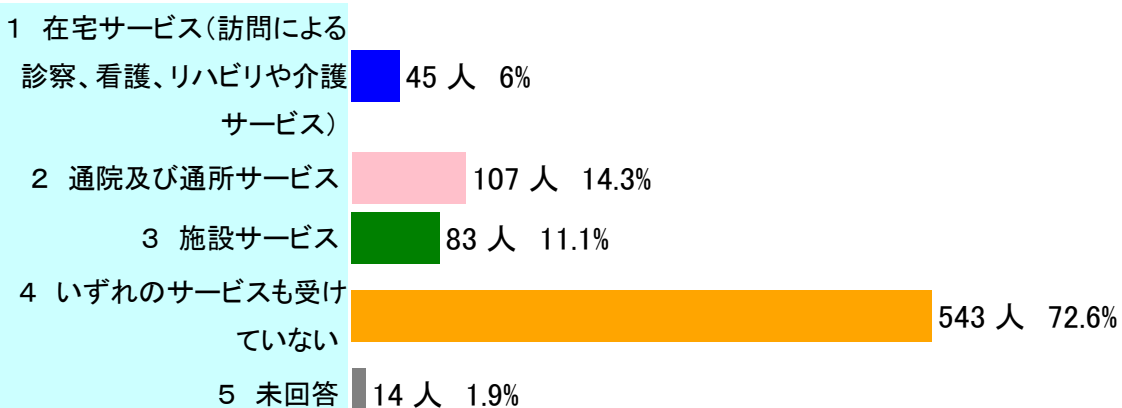
【問8】実際にはあなたはどこで最期を迎えることとなると思いますか。



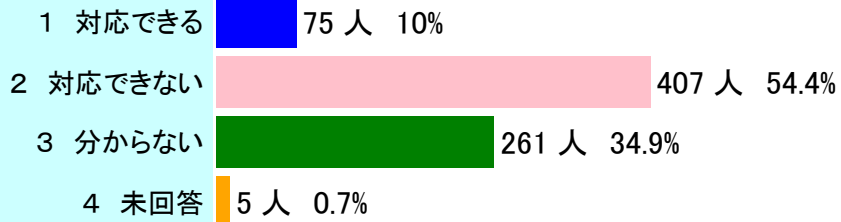
【問9】あなたが、入院以外(退院後など)で長期の療養が必要となり、医療サービスや介護サービスを利用する必要が生じた場合、どんなサービスを利用したいと思いますか。(複数選択可)



【問10】現在、実際にあなたや家族の方が受けているサービスがあれば、お教えてください。(複数選択可)

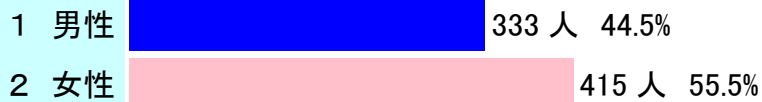


【問11】もしも、あなたの家族が自宅で病気により長期の療養が必要になったり、寝たきりなどの介護が必要になった場合、あなたは対応(介護や身の回りの世話など)ができますか。

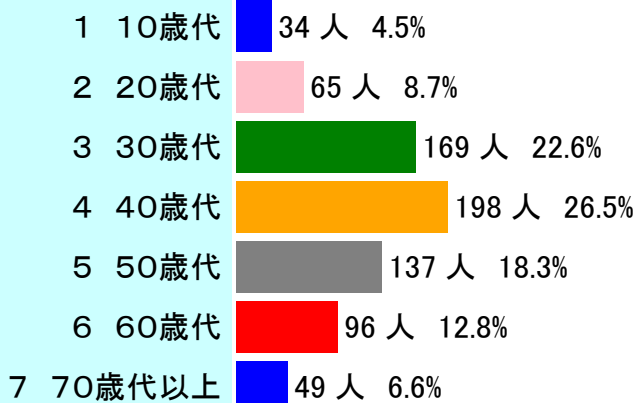


○回答者属性

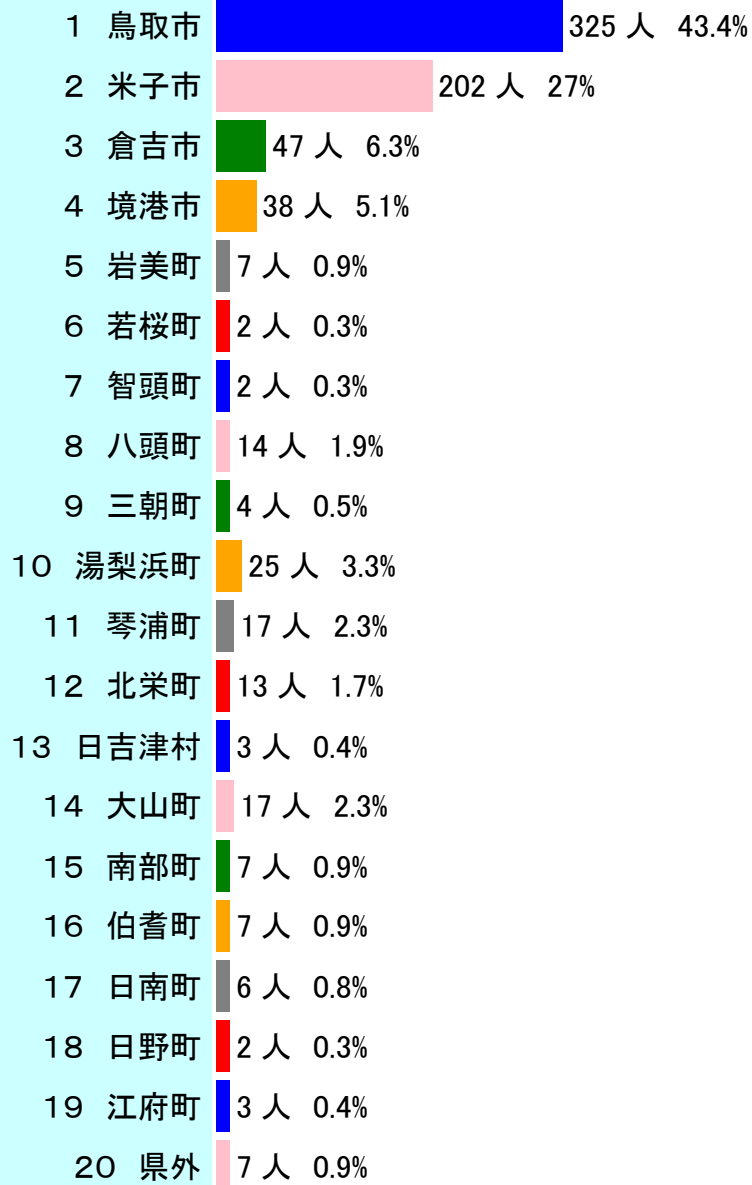
○性別



○年代別



○市町村別



○地区別

